

しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



七宗中 HP で
生徒の様子を
紹介しています。

2学期の挑戦 ～1学期学校アンケートより～

校長 福井敏彦

1学期、学校の教育目標「志をもち 仲間とともに創りだす生徒」の具現を目指し、3つのキーワードを大切にしてきました。

3つのキーワード

自律(主体的に考え、判断し、実践し続ける)

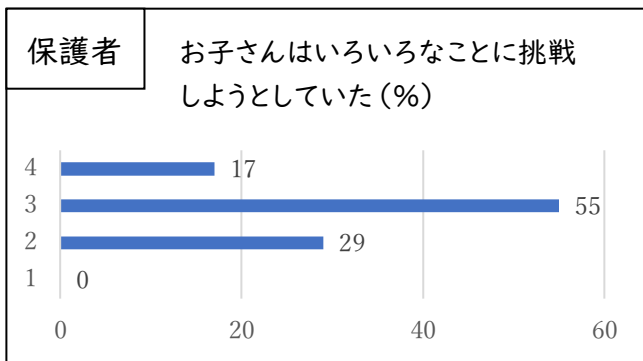
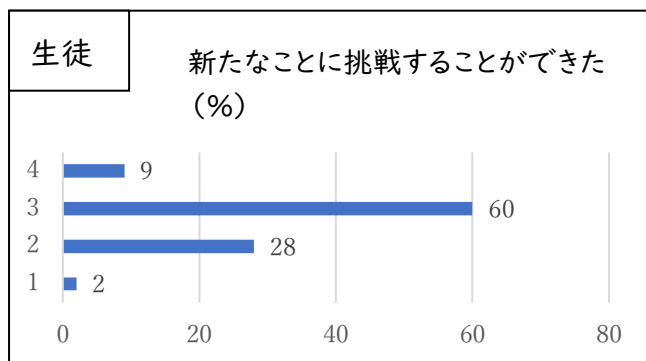
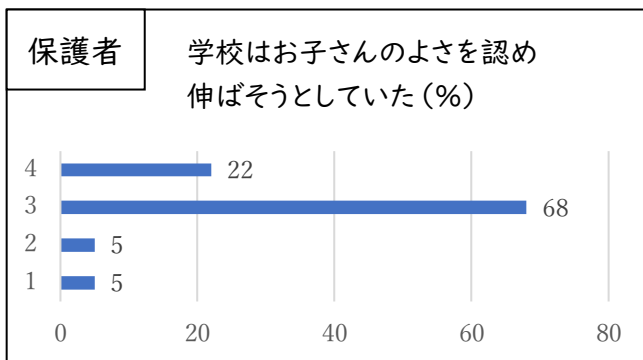
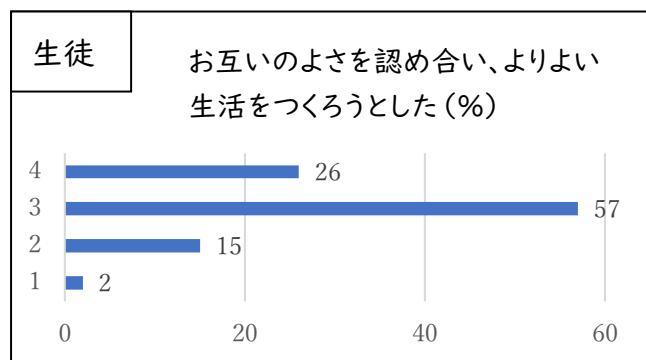
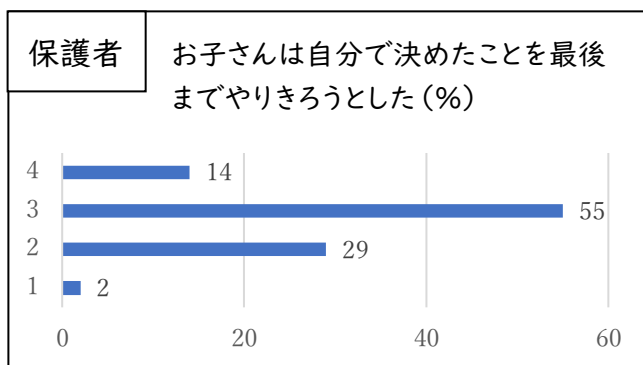
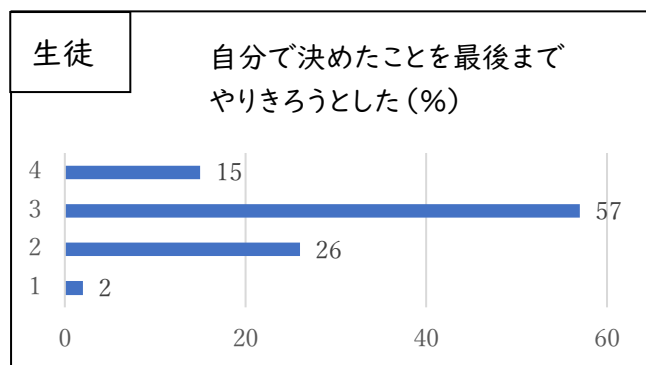
協働(お互いの人権を尊重し、誰もが幸せに生きる文化を創り続ける)

挑戦(夢や目標をもち、ねばり強く挑戦し続ける)

自分事として考えよう
お互いを認め合おう
まずやってみよう

7月に生徒・保護者に学校アンケートをとりました。結果は次のとおりです。

4(あてはまる) 3(どちらかといえばあてはまる) 2(どちらかといえばあてはまる) 1(あてはまらない)



また「統合して感じていること」を書きいただきました。一部ではありますが紹介します。

生徒の意見より

- ◆初めは統合について不安がすごかったけれど、実際試してみたら思った以上に楽しくて、たくさん笑いあえたり、協力しあったりいろいろなことがあって、統合してよかった。
- ◆神淵中の生徒のよさと上麻生中の生徒のよさが合わさって、さらによい学校になっている部分が多く、特にあいさつの声などでは多くの人々が大きな声でできるようになっている。
- ◆2学期はまだしゃべったことのない仲間としゃべれるようにしたい。
- ◆言葉づかいが悪かったり、相手が嫌な気持ちになる行動をしてしまったりしたので、2学期改善していきたい。
- ◆提出物の提出率が悪いので頑張りたい。

保護者の意見より

- ◇統合してしばらくは、慣れないのかストレスを感じることも多かったように思いましたが、今ようやく自分なりに楽しめたりできる部分もでてきたように見えています。
- ◇仲間が増え、学校生活が楽しいとよく話してくれます。
- ◇上麻生の子たちと神淵の子たち、こんなにも仲良くやっていけるのかという意味で驚くことがあるというのが一番の感想です。
- ◇新しい人間関係の構築が体験でき、今後の人生における勉強もできているのではないかと思います。
- ◇昼休みはきちんと確保してほしいです。
- ◇バスの待ち時間を有意義に活用してほしい。

成果・よさは自信に、課題は可能性ととらえ、2学期次のような支援を考えています。

自分事として考える（自律）

7割の生徒・保護者が「最後までやりきろうとした」と評価しています。コメント（理由）の内容から「自分で決めた」ことが大きな原動力となっていることがわかりました。一方で評価が低かった3割の生徒・保護者の多くが「提出物が出せなかった」ことを課題としていました。

「提出物を出す」ことは大切なことです。しかし、周りから世話をやかれ嫌々提出物を出す行為が、果たして願う力（最後までやりきろうとする力）を育むか疑問です。「何のために提出物を出すのか」その意味を問い、自分事として課題に向き合う心構えがもてるよう支援します。

お互いを認め合う（協働）

8割の生徒、9割の保護者が、お互いを認め合う風土について高評価をつけています。このよさを2学期一層高めていきたいと思います。

その手立ての一つが日課表の変更です。生徒の自治的・創造的な活動の場を保障することから始めます。時間的なゆとりが教育活動の質の高まりにつながるよう支援します。

まずやってみる（挑戦）

7割の生徒・保護者が「挑戦できた・しようとしていた」と評価しています。「係に立候補して働きかけたこと」「自分からたくさんの人に話しかけたこと」など、特に生活面で挑戦できたと感じている生徒の意見が多くみられました。

一方で評価の低かった生徒から「勇気を出すことができず、挑戦しようと思っているだけで行動に示すことができなかった」という意見がありました。新しいことに挑戦する時は誰もが不安を感じます。経験がないわけですから当たり前です。「失敗は経験値アップ」ととらえることができるよう、一人一人の願いや特性を踏まえながら支援します。

保護者の皆様へ

七宗町小中学校で「17:30以降にかかってきた電話には原則として対応しない」ことを共有しました。ご不便をおかけすることもあるとは存じますが、教員の働き方改革の一つとしてご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。